資 料 提 供

平成３０年７月２日

担 当 課	市民協働推進課
担 当 者	谷口
電　　話	(073) 402 -1213
内　　線	

平成３０年度わかやま市民協働大賞に係る協働事業の募集について

わかやま市民協働大賞では、市民公益活動団体が協働の主体として関わり、実施されている又は実施された公益的な取組について募集し、その事業の中から優良な協働事業を表彰しています。

今年度で９回目の実施となる「わかやま市民協働大賞」に、多くの市民公益活動団体の皆様に応募していただきたいと考えていますので、ご周知ご協力のほどよろしくお願いします。

１　受付期間　平成３０年７月２日（月）～　８月９日（木）　必着
　　持参の場合の受付時間　８：３０～１７：１５（金曜日を除く。）

２　募集要項　市民協働推進課にて配布しています。
　　和歌山市のホームページからダウンロードできます。

３　提出方法　市民協働推進課まで、郵送または持参してください。

４　その他

■市民コメンテーターの募集について

２次審査会（公開プレゼンテーション）に参加して、応募事業に対する意見や感想を述べていただける市民コメンテーターを募集します。

【定員】３人（申込み多数の場合は抽選）

【申込方法】８月９日（木）までに、市民協働推進課まで電話によりお申し込みください。

５　参考（平成２９年度受賞事業）

【大　賞】事業名　地域に設置されている公衆トイレの清掃活動（呼称８の字会）
　　団体名　・和歌浦地区片男波自治会
　　・片男波こども園
　　・片男波子供会

【奨励賞】事業名　あつまれ！ちびっこうんどうかい
　　団体名　・NPO わかやま子育てサークル本部サンマザー
　　・和歌山市子育て支援課地域子育て支援センターなかのしま

【奨励賞】事業名　要約筆記付きこども落語
　　団体名　・わかやま楽落会
　　・（特非）全国要約筆記問題研究会和歌山支部

わかやま市民協働大賞

～協働事業を大募集～
和歌山市があなたの協働を発信します。

選考予定

募集期間	一次審査	結果通知	2次審査	表彰事業の決定	表彰式
7/2(月)～8/9(木)	(書類審査) 9月上旬		(プレゼン) 9月下旬	10月頃	11月頃

■　平成３０年度　募集要項・申込書
和歌山市HPからダウンロードできます⇒
※市民協働推進課で配布しています。

■　事前説明会
事前説明会　　7月10日(火)　18:00～19:00
└申込不要。不参加の場合も個別で対応いたします。

■　市民コメンテーター同時募集
8月9日(木)までに電話でお申込みください。

■　ご応募・お問い合わせ先
申込書は、郵送または持参にてご提出ください。
和歌山市　市民協働推進課
(和歌山市NPO・ボランティアサロン)
住所:〒640-8033　本町2丁目1番地　フォルテワジマ6階
TEL:073-402-1213　FAX:073-402-1214
E-mail:shiminkyodo@city.wakayama.lg.jp
※金曜日・祝日は休館日

わかやま市民協働大賞　ご案内

市民公益活動団体が協働の主体として関わり、実施されている又は実施された公益的な取組について自薦・他薦を問わず募集し、応募があった事業のうち優良な協働事業を表彰します。優良な協働事業の『協働のカタチ（関係性）』を、表彰状の授与のほか、市報・HPなど各種メディアを通じて広く発信します。

1　◇応募要件◇

和歌山市内で行われている又は行われた公益的な事業で、次の要件をすべて満たしているもの

① 市民公益活動団体が、その他の団体と協働で行った事業であること。
② 応募の前年度に実施した事業又は当該年度に実施した事業若しくは実施している事業であること。
③ わかやま市民協働大賞　大賞の受賞歴がない事業であること。
④ 応募に当たって、応募事業の実施団体の了解を得ていること。
⑤ 今後も継続的に実施される見込みであること。
⑥ 営利目的、宗教的、政治的、公序良俗に反する事業・団体でないこと。

※協働事業ごとの応募とします（1つの団体が複数の事業で応募することも可能です）。

2　◇1次審査について◇

提出された書類をもとに書類審査を行い、2次審査の対象となる取組を選考します。

必要に応じて、ヒアリングを実施します。

3　◇2次審査について◇

2次審査では、事業実施団体（市民公益活動団体及び協働相手方団体）が和歌山市協働推進委員会に対して行うプレゼンテーションをもとに審査を行います。

また、プレゼンテーション終了後、公募による市民の方に事業に対しての意見や感想などをコメントしていただき、それを審査の参考とします。

4　◇審査項目◇

和歌山市協働推進委員が5つの審査項目毎に行う採点結果をもとに、和歌山市協働推進委員会が評価を行います。

インパクト・着眼点	課題解決を協働で行う意味合い、先駆性
プロセス	どれだけ信頼と合意が形成できているか、長年継続的に活動し実績があるか
協働事業の成果	協働によって挙げられた成果
発展性・継続性	今後も協働が継続・発展していく可能性があるか
特筆事項	その他、アピールポイント

※選考結果によっては、表彰の対象となる事業がない場合があります。